



十勝農業協同組合連合会

2023年  
**事業案内**



新農協連ビル



TOKACHI NOKYOREN  
BUSINESS GUIDE



<https://www.nokyoren.or.jp/>

## 十勝農業の概要

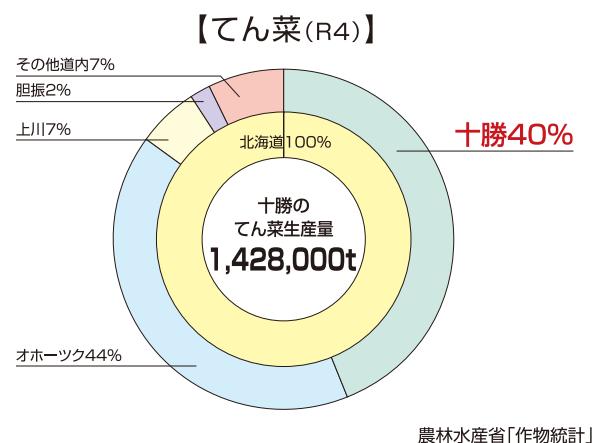
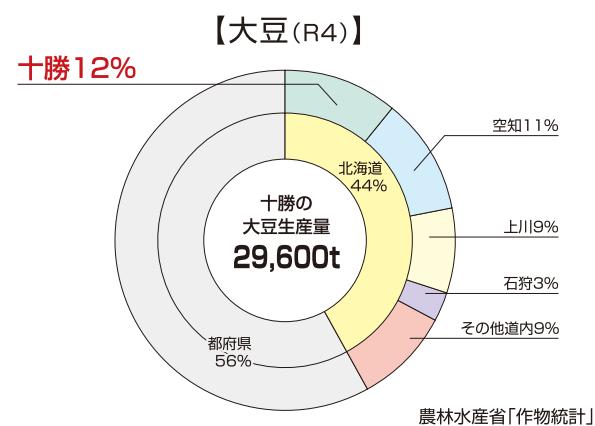
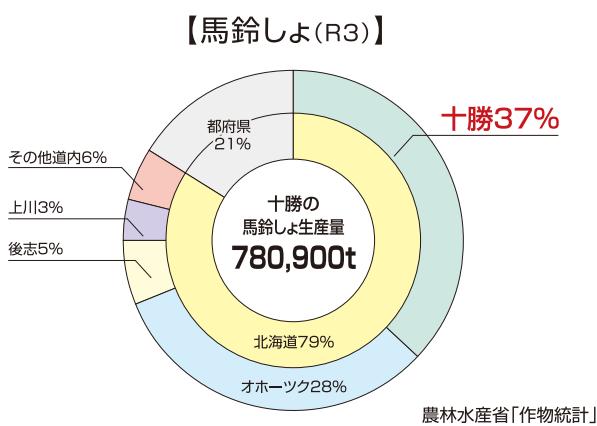
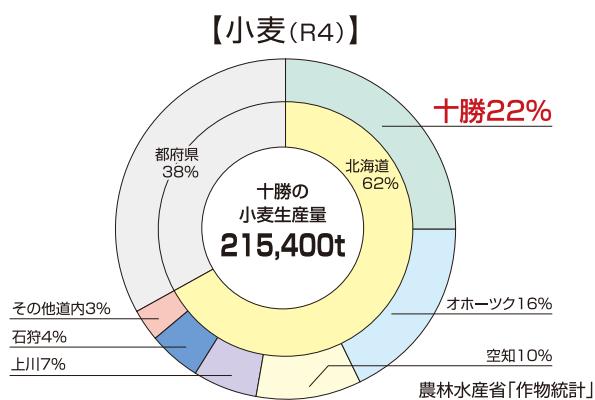
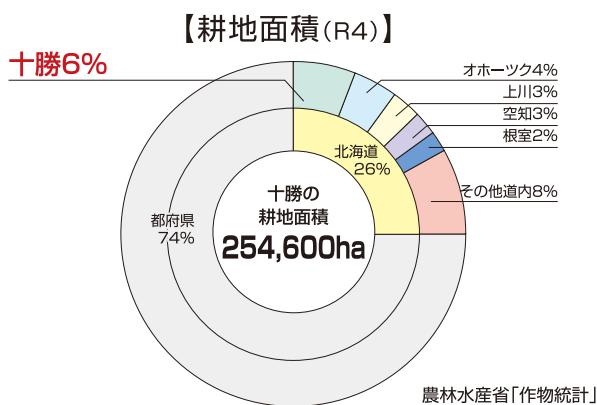
十勝の農業は開拓以来、寒冷な厳しい気象条件にありながらも近代技術の導入や排水改良などの土地基盤整備を進め、今日では我が国の食料供給を担う重要な役割を果たしています。

1経営体当たりの経営耕地面積は44.7haと都府県平均の約19倍の規模で、恵まれた土地資源を活かし、大規模で機械化された生産性の高い農業を展開しています。

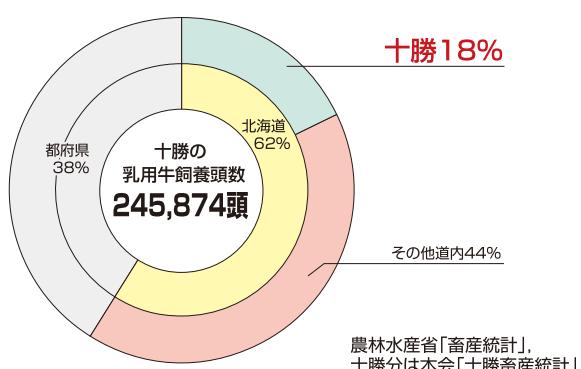
畑作は、麦類、豆類、馬鈴しょ、てん菜の4品目を主体とした輪作体系が確立され、多くの品目で全道一の生産量を誇り、野菜は、長いもやだいこんなどの根菜類をはじめ、スイートコーンや葉物など多種多様な品目が生産されています。特に主要品目である長いもを筆頭に、えだ豆、ゆり根などが海外へも輸出されています。

また、酪農は乳牛飼養農家1戸あたりの飼養頭数が約220頭と大規模化が進み、EU諸国の水準に匹敵する規模となっています。

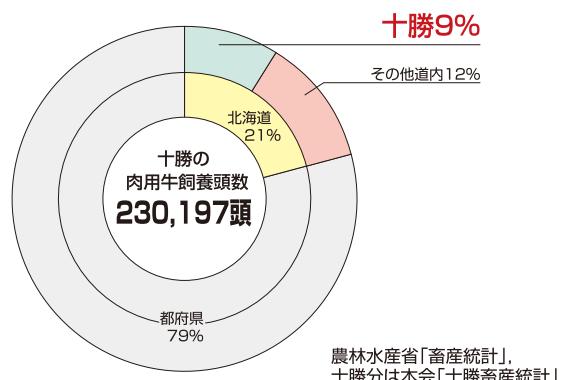
### 【グラフで見る十勝の農業】



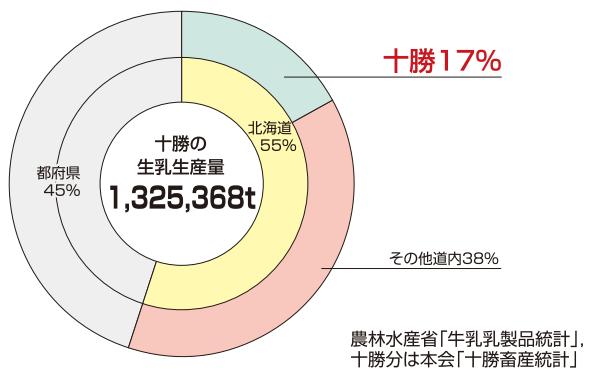
### 【乳用牛(R3)】



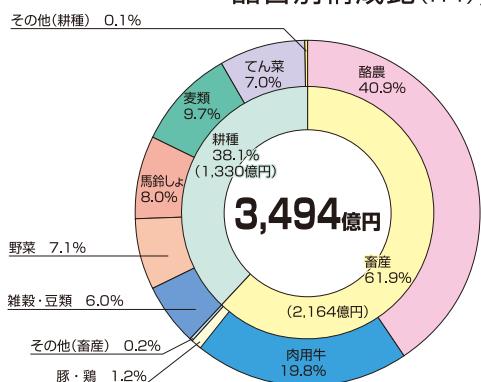
### 【肉用牛(R3)】



### 【生乳生産量(R3)】

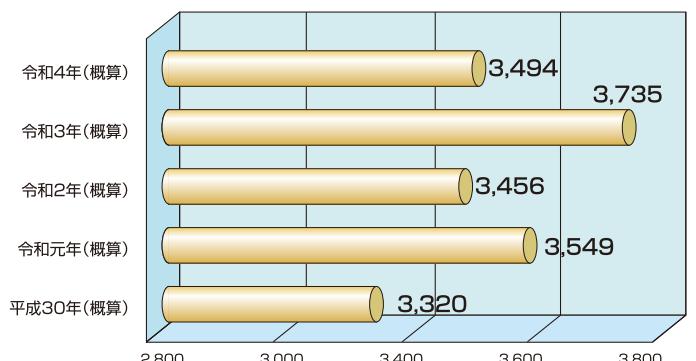


### 【十勝管内農協取扱高の品目別構成比(R4)】



資料：十勝地区農業協同組合長会  
十勝総合振興局産業振興部  
十勝農業協同組合連合会 調べ

### 【十勝管内農協取扱高の推移】



資料：十勝地区農業協同組合長会  
十勝総合振興局産業振興部  
十勝農業協同組合連合会 調べ

### 【都道府県別農業産出額における十勝の順位(R3)】

順位	都道府県	産出額	構成割合
1	北海道	13,108	14.8%
2	鹿児島	4,997	5.6%
3	茨城	4,263	4.8%
(十勝)		3,735	4.2%
4	宮崎	3,478	3.9%
5	熊本	3,477	3.9%
6	千葉	3,471	3.9%
7	青森	3,277	3.7%
8	愛知	2,922	3.3%
9	栃木	2,693	3.0%
10	岩手	2,651	3.0%
	都道府県計	88,600	100%

資料：農林水産省「農業生産額及び  
生産農業所得(都道府県別)」より  
十勝分は農協取扱高の数値を  
都道府県順位で比較したもの

### 【ご挨拶】



代表理事長

鈴木 雅博

本会は十勝地区の23農協（正組合員戸数5,433戸：令和3年度）を会員とする地区連合会であり、関係機関との連携のもと、会員農協・組合員をサポートする事業を行っています。設立以来、生産に関わる指導業務が事業の柱であります。近年においては食の安全・安心を担保するシステムの一翼を担うほか、十勝産農畜産物のブランド化・高付加価値化の推進などにも取り組んでいます。

農産部では、畑作物を主体とする種苗事業、ICTを活用した畑作物生産技術の導入、野菜栽培の省力化、土壌・飼料・残留農薬分析事業などのほか、日本で唯一の根粒菌製造・普及事業を行っており、また有用微生物資材の開発普及にも取り組んでいます。

畜産部では、飼養管理技術の向上と良質自給飼料の生産対策、家畜登録業務、共進会・共励会の開催、十勝和牛ブランドの確立支援、十勝酪農畜産物生産履歴・乳温監視システムの運用、高品質生乳生産対策、乳成分分析事業を行っております。

畜産事業部では、死亡家畜等の処理を行う十勝化成工場と乳牛の預託・育成事業を行う湧洞牧場を運営しています。

電算事業部では、十勝地域農業情報システムの運営により、会員の経営管理業務の効率化と営農指導機能の高度化を図るとともに、組合員向けに有用な営農情報を提供しています。

企画室では、十勝農業の諸課題に関する調査研究、人材育成のための経営管理支援ツールの整備や生産支援体制の充実、十勝型GAPの推進や「Made in 十勝」ブランド戦略などの取り組みにより十勝の魅力を発信しています。

十勝では、25万haの耕地に畑作と畜産が両立し、生産性の高い大規模な農業が展開されています。長年に亘り築き上げてきた生産基盤と恵まれた環境・資源を活かし、生産性と品質の向上を図りながら、2026年の農業生産額目標4,100億円の達成に向けて、関係者一丸となって取り組んでいるところです。

農業をめぐる情勢は課題山積ですが、本会の事業運営並びに十勝の農業に対しまして、皆様のご理解、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

## 十勝農業協同組合連合会の経営理念

### 【組織使命】

- 1) 本会は、会員が協同してその事業の振興を図り、もってその組合員の農業の振興、経済状態の改善および社会的地位の向上に寄与することを目的とします。
- 2) 本会は、公正な職場と健全な取引関係を築きあげ、仕事を通じて地域社会に貢献していきます。
- 3) 事業は公正であることを基本とし、地域社会を豊かにすることを使命とします。

### 【経営姿勢】

- 1) 事業は「公正」、「誠実」を旨とします。
- 2) 全ての物事の判断基準は「会員・組合員」・「利用者」の立場を起点とします。
- 3) 「他者への配慮」の姿勢を持って、事業を運営します。
- 4) 地域と共生する組織として、「社会的責任」を念頭に事業を運営します。

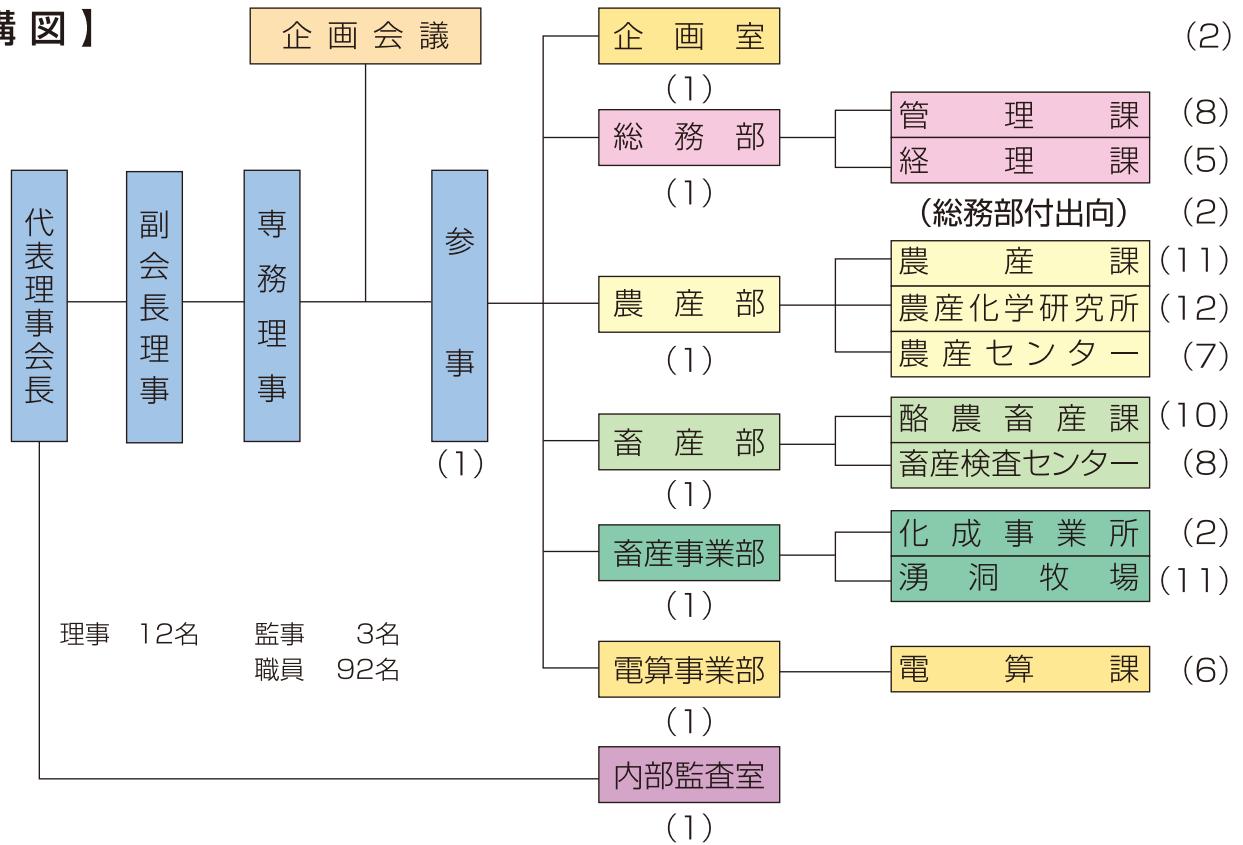
### 【行動規範】

- 1) 常に「感謝の心」を忘れずに行動します。
- 2) 時代の変化に対し、「チャレンジ精神」で望みます。
- 3) 仕事の「プロフェッショナル」を目指します。
- 4) 「順法精神」に則り行動します。

〔沿革〕

昭和22年	農協法公布・施行	平成2年	馬の資料館開館
昭和23年	十勝管内29総合農協と1畜産農協を会員とし設立 (北海道農業会十勝支部・十勝馬匹組合資産継承)	平成3年	豆類原々種生産事業開始
昭和24年	耕土改良事業開始	平成4年	生菌検査事業開始
昭和26年	第1回十勝家畜共進会開催	平成6年	組合員情報ネットワーク事業開始
昭和27年	馬鈴しょ採種事業開始	平成7年	十勝化成工場落成・運営開始
昭和28年	家畜人工授精事業開始	平成8年	牧草種子コーティング事業開始
昭和36年	根粒菌事業開始	平成10年	病害虫検診事業開始
昭和40年	車両整備事業開始	平成12年	全天候型共進会場（アグリアリーナ）新築
昭和42年	外国鶏生産販売開始	平成15年	根粒菌リゾビウム加工開始
昭和44年	種馬種付・育成事業開始	平成16年	残留農薬自主検査事業開始
昭和45年	農協連ビル（旧事務所）建設	平成17年	死亡畜専用処理工場運用開始
昭和48年	根粒菌特許権取得	平成19年	フィールドアドバイザー広域活用モデル事業開始
昭和49年	豆類種子センター新設	平成20年	農産物生産履歴システム運用開始
昭和51年	ホルスタイン雌牛育成預託事業開始	平成21年	営農支援システム「てん蔵」運用開始
昭和52年	根粒菌ノーキュライド加工開始	平成23年	十勝酪農畜産物生産履歴システム運用開始
昭和56年	帶広競馬場スタンド新築	平成24年	乳温遠隔監視記録システム運用開始
昭和57年	十勝農業広域電算事業開始	平成29年	十勝地域生産者対面型施肥設計システム運用開始
昭和59年	十勝レンダリングプラント操業開始	令和4年	「飼料アップとかち」運動開始
昭和60年	海外農業研修視察事業開始		「十勝和牛哺育育成管理マニュアル」普及推進事業開始
昭和61年	十勝農業賞制定		十勝型GAPチェックリスト集計システム運用開始
昭和62年	生乳分析事業開始		とかち農業・農村フォトコンテスト開始
昭和63年	土壤・飼料分析事業開始		TAFシステム(十勝地域組合員総合支援システム)運用開始
	病畜処理事業開始		農協連ビル（現事務所）新築
	組織培養事業開始		
	酪農経営情報システム事業開始		
	十勝地域農業情報システム事業開始		
	研究農場開設		
	小麦種子消毒事業開始		

## 【機構図】



### 【農産部】

#### ■農作物の生産力向上に向けた取り組み

「TAFシステム(十勝地域組合員総合支援システム)」の構築により、ICTを活用した畑作物生産技術の導入を推進しています。また、てん菜・野菜類における直播栽培技術の導入や野菜栽培の省力化に向けた機械化を進めています。

#### ■強固で豊かな生産基盤の構築

病害虫発生情報を会員農協に提供するとともに、発生要因の解析および防除対策を検討しています。また、圃場の排水性改良や畑輪作における飼料用とうもろこしの導入に取り組んでいます。

##### ～提供している病害虫発生情報～

- ・馬鈴しょアブラムシ発生情報・ながいもアブラムシ発生情報
- ・馬鈴しょ疫病防除開始目安・大豆アブラムシ防除適期目安

#### ■畑作物種子の安定供給対策

畑作物種子の安定供給を図るため、原採種圃面積の維持、拡大ならびに農協間受委託生産を進めています。また、圃場管理の現地指導を行うとともに、技術研修会などを開催しています。

ジャガイモシストセンチュウまん延防止対策、ウイルスや細菌による種子伝染性病害の検定ならびに豆類・麦類種子発芽検定を実施し、種子の病害虫防除対策や品質維持に努めています。

主要畑作物種子取扱数量(令和4年度)

作物名	配付数量(t)
馬鈴しょ	32,389
豆類	1,957
秋播小麦	4,862



農産センター

#### ■豆類および麦類種子の調整・加工

原採種圃産豆類および麦類種子の調整ならびに加工(豆類は根粒菌接種、麦類は種子消毒)を行い、配付しています。

また、災害に備え年間165tの豆類種子を備蓄しています。

#### ■有用微生物資材の開発・製造・普及

根粒菌やアズスピリラム菌など、農作物に有用な微生物を用いた資材の開発・製造・普及に取り組んでいます。

##### ～販売している有用微生物資材～

- ・まめぞう、豆の応援団、ネフエール(てんさい用・たまねぎ用)、ネフエール液剤



根粒菌まめぞう



アゾスピリラム菌資材ネフェールシリーズ

## ■分析事業

土壤・飼料、作物体や堆肥の分析を行っています(計量証明事業所として登録)。

また、安全・安心な農産物生産を支援するために、農産物の残留農薬自主検査や病害虫検診を行っています(ISO/IEC 17025認定)。



土壤・飼料分析



農産化学研究所

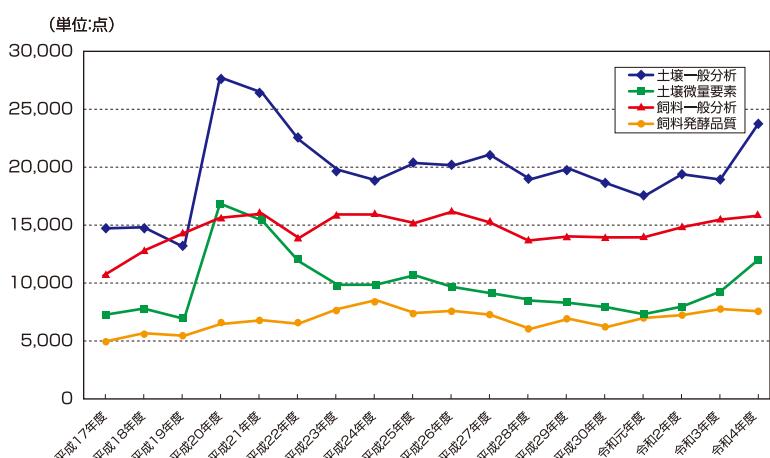


残留農薬自主検査



線虫の検診

### 土壤・飼料分析点数の推移(平成17年度～令和4年度)



### 土壤・飼料分析点数(令和4年度)

(単位:点)

土 壤 分 析		飼 料 分 析			そ の 他 分 析		
一般分析 23,261	微量要素 12,616	一般分析 15,522	発酵品質 7,634	硝酸態窒素 2,260	蛋白分画 4,148	微量ミネラル 1,768	堆 肥 1,238
作物体 1,888							

### 【畜産部】

#### ■十勝酪農畜産物安全・衛生対策の取り組み

「TAFシステム」により、牛の出生から出荷までの飼料給与情報や治療情報などを管理するとともに、牧場経営に有益な情報のフィードバックに取り組んでいます。

特に安全性が求められる生乳の管理では、貯乳中の乳温をリアルタイムに集中監視する「乳温遠隔監視記録システム」を構築し、十勝型「食の安全確保体制」の確立に取り組んでいます。

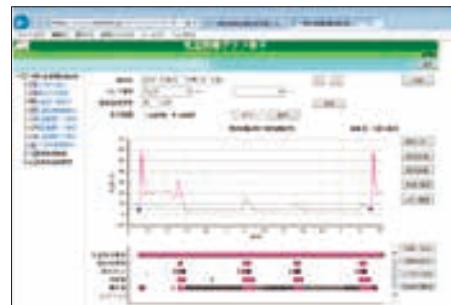
また、大学や関係機関の協力を得て、家畜伝染性疾病のまん延防止対策に取り組んでいます。



TAFシステム



乳温遠隔監視記録システム



#### ■酪農・畜産物生産技術対策の取り組み

飼料設計や飼養管理改善などの現地支援を行い、生乳生産性の最大化と牛供用年数の延長に取り組んでいます。

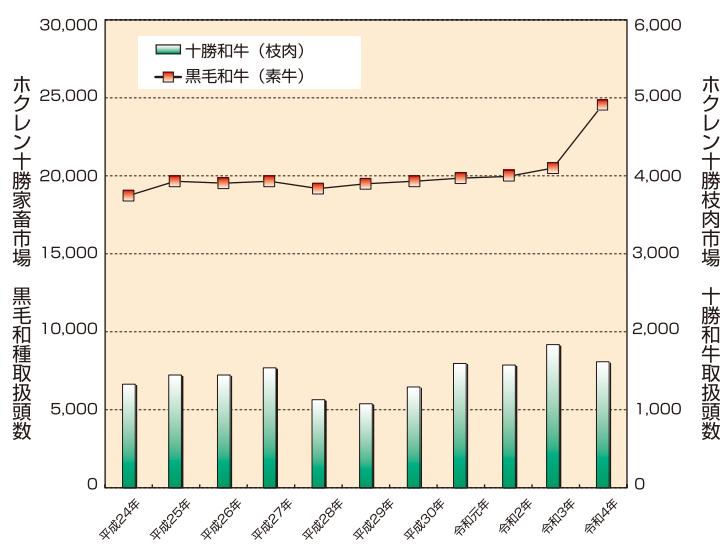
地域ブランド「十勝和牛」確立のために発育、資質に優れた素牛生産と高品質和牛肉の安定生産に取り組んでいます。

また、重種馬生産頭数の維持・拡大のため、優良種雄馬の配置や生産率向上などの振興対策を推進しています。

#### 生乳生産量と経産牛1頭当たり乳量の推移



#### 黒毛和種家畜・枝肉市場取扱頭数の推移



#### ■人材育成と情報提供の取り組み

大学や試験研究機関の協力を得て各種セミナーを企画・開催し、最新技術や優良事例などの情報提供を通して人材育成に取り組んでいます。

また、十勝管内の生産基盤状況や市場販売情報などを分析した統計資料を提供し、会員農協及び関係機関との情報共有及び課題把握に取り組んでいます。



十勝酪農フォーラムの風景

## ■家畜改良増殖の取り組み

十勝乳牛・和牛の改良目標を定め、生産能力に優れた管内飼養牛の受精卵を生産・流通する体制構築に取り組んでいます。

また、会員生産者の改良意識向上のため、十勝総合畜産共進会を開催しています。



十勝総合畜産共進会審査風景



生乳検査業務風景



化成工場  
(第1工場)



化成工場(第2工場)

## ■良質生乳生産および乳房炎防除対策の推進

高品質で安全な生乳を安定的に供給するため、搾乳現場から生乳輸送用タンクローリーに至る衛生管理対策を行っています。また、乳房炎感染による経済的損失を最小とするため、搾乳作業や機器・飼養管理などの現地改善対策を関係機関と連携して推進しています。

## 【畜産事業部】

### ■化成事業の運営と推進

十勝管内畜産農家からの死亡家畜および屠畜場、食肉処理場からの骨、残渣などの不可食副産物を畜産有用資源として再利用できるよう衛生的かつ効率的な処理に努めています。また、十勝管内生産者および会員農協・関係獣医師に対する生産指導支援業務として、専門獣医師による死亡家畜の死因解剖調査を実施しています。

### ■預託事業の取り組み

経営規模の拡大や安定した酪農経営を支援するため、広大な放牧地と自給飼料生産基盤を有効活用し、乳用育成牛の預託事業に取り組んでいます。健康な優良牛生産のために、飼養管理と良質自給粗飼料生産技術の向上に努めるとともに、万全な防疫体制を推進し、預託者に信頼される牧場運営に努めています。



湧洞牧場



## 【電算事業部】

### ■「TAFシステム」の利活用推進と運行管理

生産者や農協担当者がスマートフォン等により現場で迅速に営農関連情報を入手・利用できるTAFシステムの利活用と運用管理を行っています。

#### 主なシステム

- 1.個別農場情報システム(組勘取引明細・残高の照会等)
- 2.農産物・酪農畜産物生産履歴システム
- 3.マッピング・施肥設計システム
- 4.十勝型GAPシステム
- 5.乳温遠隔監視記録システム
- 6.土壤・飼料分析結果照会システム
- 7.営農webてん蔵(気象情報等)
- 8.FAXお知らせ(掲示板・一般・親展)

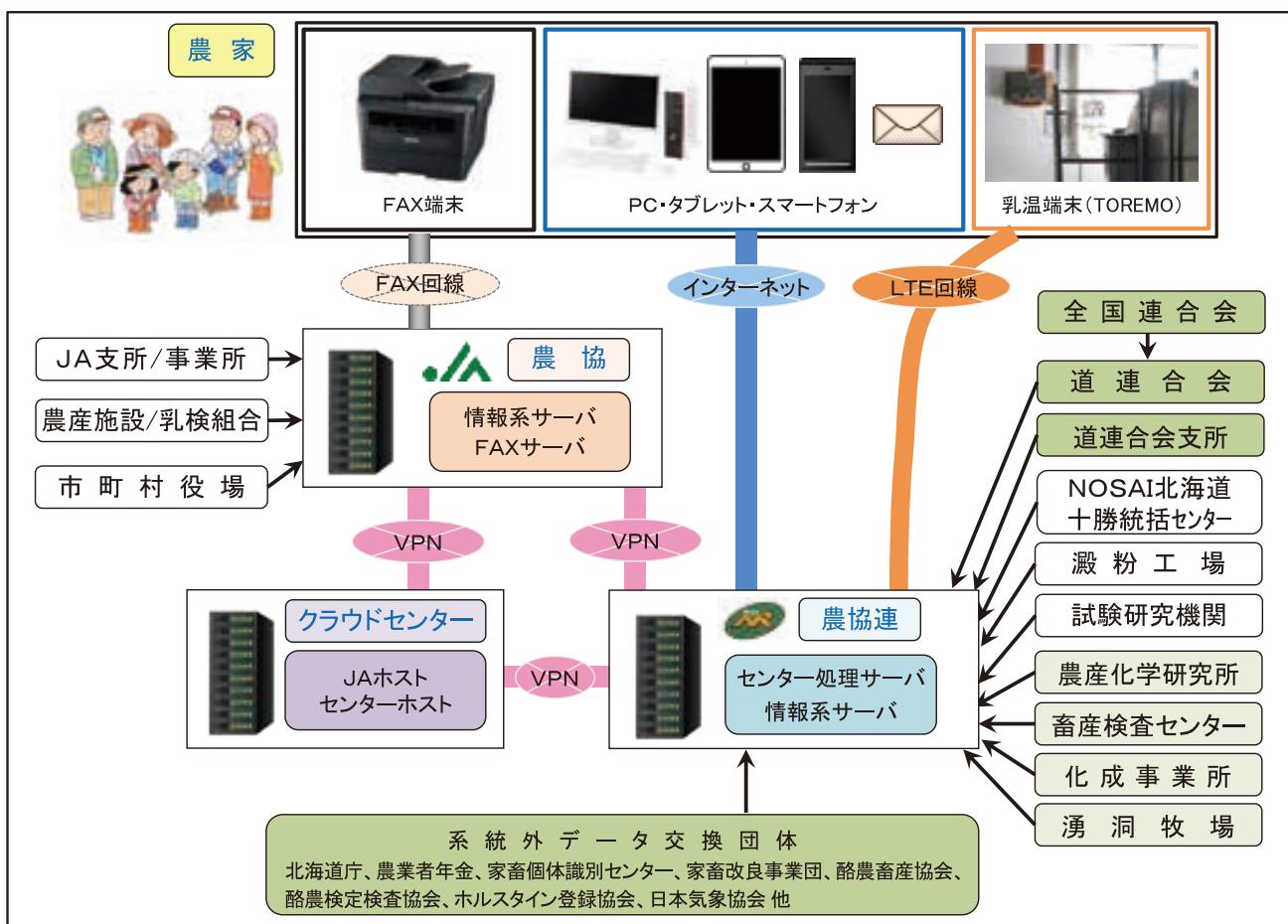


電算事業部サーバ室

### ■農協の事業強化と業務効率化のためのシステム開発と運用

農協基幹業務システムの開発、運用サポートをはじめ、各種データの受け払い、メールシステムの構築・運行管理、情報セキュリティの強化、ハードウェア・通信回線の整備と低コスト化、さらには情報利活用のための教育研修などを行っています。

## 十勝地域農業情報システム全体ネットワーク図



## 【企画室】

### ■十勝農業の発展に向けた企画業務の推進

十勝農業ビジョンの策定と推進を担当する部署として、国内外の情勢分析と十勝農業の将来予測ならびに諸課題に関する調査研究に取り組むほか、農家戸数、農業所得、農協取扱高などの動態調査を行っています。

### ■営農支援体制の拡充と人材育成

JJAの組合員相談機能の強化に向けた経営管理分析ツールの整備や営農指導担当者のスキルアップ支援、農協役職員海外研修視察の企画、農業後継者等の海外農業実習に対する助成事業を行っています。

また、コントラクター組織のサービスの向上と運営基盤の強化等を目的とした十勝地区農作業受委託事業協議会の事務局を担うほか、農家労働力の確保対策に携わっています。

### ■GAPの推進と十勝農業のファンづくり

安全・安心を担保する十勝型GAPの推進と国際水準GAP認証取得の支援、十勝農業の魅力発信とファンづくりに取り組んでいます。

## 【十勝農業ビジョン2026】

### 目 標

**農業生産額 4,100億円**

JJAが取り扱う農畜産物の組合員への販売支払高に  
経営所得安定対策等による政策支援額を加えたもの

### 基本姿勢

- 1.安全安心で高品質な農畜産物の安定供給に努め、「十勝」ブランドへの信頼に応える。
- 2.環境にも配慮した生産に取り組むとともに、スマート農業による省力化、効率化、精密化を進める。
- 3.農業所得の向上に向けて、経営感覚を磨くとともに、生産性向上とコスト低減を図る。
- 4.JJAの総合事業の有機的な展開と、農協運動の理念に基づいた対話と行動をもって、協同の成果の実現を図る。
- 5.基幹産業として地域の経済と生活を支え、豊かで潤いのある地域社会の発展を目指す。

## 【内部監査室】

### ■法令・定款・諸規程類の遵守と経営目的の達成

コンプライアンスを遵守し、業務運営の適正化を図るとともに、経営目的達成と業務の効率化・改善を取り進めます。

### ■効率的な監査の実施

関係機関と連携し、効率的な監査を実施します。

## 【総務部】

### ■業務執行体制の強化

会員農協・組合員の負託に応えた事業を開拓していくために、職員教育の充実による資質向上とコンプライアンス意識の定着、組織の信頼性向上を基本に、活力ある組織づくりに取り組んでいます。

### ■財政基盤の確立

経営収支の安定と経営基盤強化のため自己資本の充実を図るとともに、資金の効率的な運用により財務基盤の確立に取り組んでいます。

### ■資産の運営管理と効率的運用

本会設立時に十勝馬匹組合などから継承した資産である帯広競馬場をはじめ、農協連ビルや家畜共進会場(アグリアリーナ)などの本会所有施設・資産の維持管理と効率的運用に努めています。



## 【会員農業協同組合】

帯広市川西農業協同組合 音更町農業協同組合  
帯広大正農業協同組合 士幌町農業協同組合  
中札内村農業協同組合 上士幌町農業協同組合  
更別村農業協同組合 札内農業協同組合  
忠類農業協同組合 幕別町農業協同組合  
大樹町農業協同組合 十勝池田町農業協同組合  
広尾町農業協同組合 豊頃町農業協同組合  
芽室町農業協同組合 浦幌町農業協同組合  
十勝清水町農業協同組合 本別町農業協同組合  
新得町農業協同組合 足寄町農業協同組合  
鹿追町農業協同組合 陸別町農業協同組合  
木野農業協同組合



## 十勝農業協同組合連合会

〒080-0022 帯広市西12条南6丁目3番地1

総務部 管理課 TEL 0155-65-0535	FAX 0155-65-0537
(施設) TEL 0155-65-0534	
経理課 TEL 0155-65-0533	FAX 0155-65-0540
内部監査室 TEL 0155-65-0547	
企画室 TEL 0155-65-0536	FAX 0155-65-0543
農産部 農産課 TEL 0155-65-0538	
TEL 0155-65-0539	FAX 0155-65-0546
畜産部 農畜産課 TEL 0155-65-0541	FAX 0155-65-0542
TEL 0155-65-0542	
電算事業部 TEL 0155-65-0545	FAX 0155-65-0546

## 事業所

畜産検査センター	〒080-0024 帯広市西14条南6丁目1番地 TEL 0155-36-5601 FAX 0155-34-3266
農産化学研究所	〒080-2464 帯広市西24条北1丁目1番地7 TEL 0155-37-4325 FAX 0155-37-4327 TEL 0155-37-4326 FAX 0155-37-4329
農産センター	〒080-2464 帯広市西24条北1丁目1番地7 TEL 0155-37-2150 FAX 0155-37-4551
化成事業所	〒089-1372 中札内村元札内東2線51番地 TEL 0155-69-4121 FAX 0155-69-4122
湧洞牧場	〒089-1881 広尾郡大樹町字生花181番地1 TEL 01558-7-8139 FAX 01558-7-8150